

## 相談員のつぶやき

市民活動の社会的な役割とは何でしょうか？私は何といっても重要なことは、「市民の自己決定の領域を増やしていく」ということだと思います。日本では長らく、「公共＝行政（＝お上）」でした。それを、「公共＝市民（＝自治）」に変えていくことが「新しい公共」の中身だと思います。もちろん、自己決定を基本に据えるということは、他者の自己決定を尊重するということでもあります。とりわけ、声をあげにくい社会的弱者・少数者の声をひろいあげ、それを唱道していくこと（＝アドボカシー）は市民活動の大きな役割だと思います。

相談員：小泉 雅弘さん  
（NPO法人さっぽろ自由学校「遊」理事。金曜日の市民活動相談を担当）

## 皆さんのお力になります!!

「NPOって何？ どうやって始めるの？」「始めてみたけど団体内で問題が…どうしたらいいの？」そんな市民活動に関わる疑問・質問は「市民活動相談」へ！活動経験豊富な「さっぽろパブリックサポートネットワーク」のメンバーが相談をお受けします。

- 相談日：火曜日～金曜日（祝日休）
  - 相談時間：15:00～18:30
  - 相談方法：札幌市市民活動サポートセンターの窓口で直接ご相談できる他、Eメールでの相談もお受けしています。ご希望の方は、HP「さっぽろまちづくり総合情報ポータル」からどうぞ！！
- 電話(011)728-5888 FAX(011)728-7280

## 市民活動促進のコーナー

札幌市からのお知らせ

## さぽーとほっと基金情報

さぽーとほっと基金とは？

市民や事業者の皆さまからの寄付により、福祉や子育てなどの市民の方々による公益的なまちづくり活動を支援する札幌市の基金です。

平成23年度後期の助成事業を募集します

分野・テーマ	助成額	1事業の助成額
1 保健・医療・福祉の増進	50万円	10～20万円
2 子どもの健全育成	60万円	10～20万円
3 経済活動の活性化	10万円	10万円
4 職業能力開発・雇用機会拡充	10万円	10万円
5 テーマ「地域の絆・つながりをつくり、まちを元気にする活動」	50万円	10～20万円
6 イオン環境基金	100万円	10～50万円
合計	280万円	

助成事業募集期間	6/15(水)～7/15(金)
書類審査(1次審査)	7月下旬
公開プレゼンテーション(2次審査)	8月中旬
助成決定	8月下旬

同時に「被災者を支援する市民まちづくり活動」の助成事業も募集します。詳しくはホームページ等でご確認ください。

【このコーナーについての問い合わせ】札幌市市民活動促進担当課  
<TEL>(011)211-2964 <E-mail>shimin-support@city.sapporo.jp  
<ホームページ>http://www.city.sapporo.jp/shimin/support/kikin/

## みんなのしみサポ みつけ!

「みんなのしみサポ」は以下の  
お店などでも配布しています。

\*お店の住所はすべて「札幌市」です。

- Café 亜麻人(あまんど) 北区麻生町6丁目14番6号 高橋ビル2階
- 札幌合同庁舎内郵便局 北区北8条西2丁目1-1 札幌第1合同庁舎B1
- 楽しいモグラクラブ 北区北19条西3丁目2番33-100号
- 茶廊法邑・品品法邑 東区本町1条1丁目8-27
- 北海道環境財団 中央区北4条西4丁目 伊藤・加藤ビル4階
- 北海道労働金庫 中央区北1条西5丁目
- Y's Cafe 北区北7条西6丁目 北海道クリスチャンセンター1F

募集 「みんなのしみサポ」の配布に協力して下さるお店などを募集中！  
詳細は当センターへ。

## メールマガジン ~好評配信中!~

助成金や講座・イベントなど、市民活動のお役に立つ情報を  
毎月2回、第2・第4金曜日にお届けします。  
お申込みはHPから受付中

<http://www.shimin.sl-plaza.jp/>

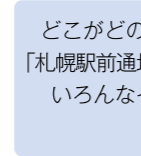
## チラシ・パンフレット ~好評配架中~

市民活動団体の会報やパンフレット、  
イベント・講座のチラシを配架中！  
チラシなど配架希望の方は下記までお問い合わせください。

## 編集後記



札幌駅前通地下歩行空間って市民活動にとって魔法の箱ではないでしょうか。でもどんな魔法が出てくるのかは市民活動団体の知恵次第。期待はふくらみます。(足立)



どこかのように使われているのが分かってから、「札幌駅前通地下歩行広場」を通るのが楽しくなりました。いろんなイベントや物産展があって面白いです！(村松)



今回初めての取材参加で緊張していましたが、とても貴重な経験になりました！！これからも編集スタッフとして活躍したいと思っています(笑)のでよろしくをお願いします。(笹谷)



## 札幌市市民活動サポートセンター

- 発行日：平成23年7月
- 発行：札幌市市民活動サポートセンター  
[指定管理者：(財)札幌市青少年女性活動協会]
- 住所：〒060-0808  
札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ2階
- 電話：(011)728-5888
- FAX：(011)728-7280
- URL：<http://www.shimin.sl-plaza.jp/>

札幌 市民活動



# みんなのしみサポ

札幌市市民活動サポートセンターだより

第27号  
2011.7

札幌市市民活動サポートセンターはNPOやボランティア活動などの市民活動を支援する施設です。

## 特集

## 地下歩行空間の利用法って？

登録団体数	(平成23年5月末)
市民活動団体	1,850団体
消費者活動団体	19団体
男女共同参画活動団体	33団体
環境活動団体	47団体

## 被災地へ届け! みんなの力!!

2011年3月11日に発生した未曾有の大震災に対し、多くの個人や市民活動団体が被災者の支援のために立ち上がりました。ここ札幌でも、多くの団体がさまざまな支援活動を行っています。被災者支援を行っている団体の方からいただいた写真とコメントをご紹介します。

震災から3か月が経った今、私たちが出来ることをもう一度考えてみませんか？

## 「東日本大震災 市民支援ネットワーク・札幌“むすびば”」

市民一人ひとりの「何かをしたい」という思いを形にし、被災された人々とつなぐネットワークとして立ち上げたのが「東日本大震災市民支援ネットワーク・札幌“むすびば”」です。被災地へのボランティア派遣、札幌圏への避難・移住者の受け入れサポートなどのほか、センター内にコーナーを設け、震災支援に関する相談に常時応じています。

北海道札幌平岡高等学校・軽音楽部の生徒さんたちが、津波で楽器などをすべて失った気仙沼の高校のことを知り、アンプ、ミキサー、キーボードなどを送ることにしたのですが、輸送手段がなく困っていました。その問い合わせが「むすびば」に寄せられ、6月3日～6日に現地を訪れる「むすびば」のメンバーに思いと楽器を託しました。6月4日、避難している宮城県気仙沼西高等学校に届けることができました。みなさん喜んでくださいました。また、札幌平岡高等学校・軽音楽部では、被災した生徒さんを励ます歌を作って、すでに送ったそうです。



③札幌市市民活動サポートセンター主催 市民活動サロン「東日本大震災 現地派遣支援チーム報告会」の様子  
④楽器を受け取った宮城県気仙沼西高等学校のみなさん

## NPO法人ねおす

東日本大震災により、我々スタッフの故郷、岩手県金石市片岸地区が被災したことがきっかけで、震災直後から支援活動を続けています。子どものケア活動や被災者の居場所づくり活動、瓦礫そうじの支援の他、地域の経済活動への支援にも少しずつ取り組んでいます。

今後も長期的に、地域づくりも視野に入れた復興支援を行っていきます。そのための活動資金を募っておりますので皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。【支援blog】[http://blog.goo.ne.jp/neos\\_hokkaido](http://blog.goo.ne.jp/neos_hokkaido)



②ボランティア隊による瓦礫そうじ  
③「青空喫茶」の様子

被災地支援として、瓦礫そうじ作業や子ども活動など、さまざまな活動を行っています。ボランティア隊による瓦礫そうじでは、重機では片付けられない細かい瓦礫や木片などを人の手で拾って集めます。また、被災者の居場所づくり活動として、支援物資の無料フリーマーケットとカフェ的な交流の場「青空喫茶」を避難所の前の空き地を利用して開催しました。

## 札幌YWCA

全国のYWCAは、子ども、女性、障がい者、高齢者の中・長期の活動支援を打ち出し、被災者の受け入れやテレビ電話を使った子どもたちの心のケアまで、多岐にわたる支援を行っています。

札幌YWCAでも、福島県新地町災害ボランティアセンターへの現地ボランティア派遣と、募金活動、物資支援などを実施中です。全国コミュニティーライフサポートセンターと協力し、これまでに、哺乳瓶、紙おむつ、クレヨン、鉛筆など、現地の要請に合わせた物資を送ってきました。

札幌YWCAでは、北海道大学学生有志と協働で移住者・避難者の学習支援も予定しています。夏には「東日本大震災支援ネットワーク・札幌“むすびば”」と協力し、心と体のケアとして福島から親子を北海道へご招待する企画もあります。引き続き募金活動も行ってまいります。皆様のご協力をお願いします。



①新地町現地での支援の様子。現地のボランティアと協力して活動しました。  
②集まった支援物資を確認するメンバー。



# 地下歩行空間

## 札幌駅前通

ここが気になる!?

地下鉄さっぽろ駅から大通駅までを結ぶ地下歩行通路「札幌駅前通地下歩行空間」が、3月12日にオープンしました。ここには、都心のさまざまな魅力や楽しさを味わうことのできる空間とするための広場空間が用意されており、展示・販売やパフォーマンス、音楽会などさまざまな催し物を行うことができます。気になる利用方法や申込方法などを、地下歩行空間を管理している「札幌駅前まちづくり株式会社」にみんなのしみサポ編集スタッフが取材してきました!

ここがポイント!

- ①コンセプトの一つに、「市民活動」の推進がある!
- ②憩いの空間は一区画6m×4mを最長1週間貸出!
- ③実施内容によっては使用料が半額に!
- ④テーブルや音響・パネルなどの貸出あり!

利用料金

「憩いの空間」の使用料は1区画あたり平日4800円/土日祝日・休日7200円/日です。ただし、市民活動などの利用の際には実施内容によって減額(5割引)になる場合があります。詳しくはまちづくり会社にお問い合わせください。

利用申込み

予約は半年前より先着順で受け付けています。公共性の高いイベントや空間をより有効に活かせるものを優先する場合があります。

※1回の利用の終了後に次のご予約をおとりできます。

物品の貸出し

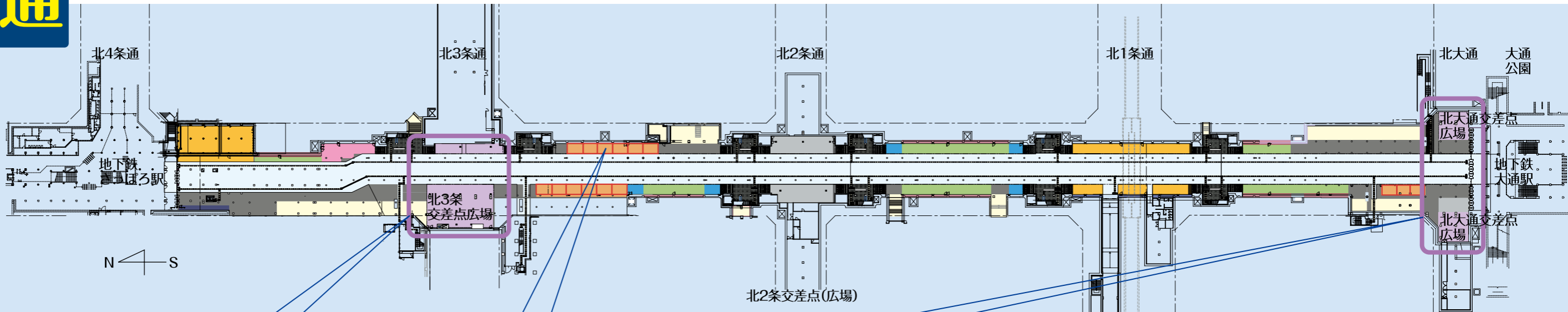
パネルセット・カフェセット・展示ケース・音響装置セット・プロジェクターセット・マイクロホン・ワゴンなどを有料で貸出しています。

※詳しくはホームページをご覧ください。

注意!

- 利用中はイベント主催者が常駐する必要があります。
- 展示物品は全て毎日持ち帰りになります。(広場に置いたまま帰ることはできません)
- 搬入用エレベーターが無いため、地下への搬入には基本的に階段を使用します。
- 販売品目については事前にまちづくり会社にご相談ください。
- 食品の販売は保健所の許可が必要です。札幌市保健所中央衛生担当課までお問い合わせください。(011)511-7227

※詳しくはホームページ・利用規約をご覧ください。



### 北3条交差点広場

シンポジウムや音楽ライブ、芸術発表の場などに利用されています。西側300m<sup>2</sup>と東側110m<sup>2</sup>で別々に借りることができます。

### 憩いの空間

展示やPR、休憩スペースなどに利用されています。一区画の広さは間口6m×奥行4m。通路両側の床がグレー色になっている部分です。18区画貸出しています。

### 北大通交差点広場

「北3条交差点広場」と同じく、西側と東側で別々に借りることができます。西側には市民活動サポートセンターで管理している情報コーナーがあり、市民活動に関する情報提供を行っています。チラシ配架の方法など情報コーナーの利用に関しては、札幌市市民活動サポートセンターにお問い合わせください。

### 札幌駅前通地下歩行空間 基本データ

通路延長520m(地下鉄さっぽろ駅から大通駅まで)  
総道幅 20m(歩行空間12m・憩いの広場4 m×2)  
利用(通行)人数:7万人/日

※本誌に記載の情報は、すべて2011年5月15日現在のものです

### 問い合わせ先

札幌駅前通まちづくり株式会社  
住所:札幌市中央区北2条西3丁目 越山ビル505号  
電話:(011)211-6406  
<http://www.sapporo-chikamichi.jp/space/>

## 札幌エルプラザ 情報センターからのお知らせ

オススメ図書のご紹介です。

『<一人でもできる> 地震・災害ボランティア活動入門』  
角田 四郎/著 ふきのとう書房 2006年4月  
著者の実体験をもとに被災者支援ボランティア活動の概要から、活動の前の準備、活動資金、活動内容まで具体的に書かれた一冊。これから災害ボランティア活動を始めたい方におすすめです。

『<シリーズ災害と社会5> 災害ボランティア論入門』  
菅 磨志保、山下 祐介、瀧美 公秀/編 弘文堂 2008年4月  
第1部では災害ボランティアの意義を問い直し、第2部ではその答えを実例と照らし合わせながら考察しています。第3部ではその問答を踏まえ、個人レベルから組織、社会レベルまで段階を追って、災害ボランティアがどうあるべきかを論じています。

情報センターでは、市民活動・男女共同参画・消費生活・環境に関する図書、行政資料、視聴覚資料等を閲覧・貸出しています。(一部資料は閲覧のみ)。  
■開館時間 9:00~20:00(貸出は19:45まで) ■問合せ 情報センター(札幌エルプラザ内)011-728-1223

### 掲示板

このコーナーでは、札幌市市民活動サポートセンターで行われる事業について、スタッフからのお知らせやメッセージをご紹介します。今号は、6月27日(月)から実施したポイント支援講座「NPOのための資金調達術」の担当スタッフのコラムです。

### 助成金…皆さんのミッション・ビジョンは何ですか?

札幌市市民活動サポートセンターでは、市民活動団体の皆さんから助成金の相談をよく受けます。「どうしたら貰えるのだろう?」「なぜ、ダメなのか?」…その団体の存続を左右すると言っても過言ではない、プレッシャーのある相談も多いのです。「助成金を確実に貰える方法はあるのか?」という質問も受けますが、答えはNOです。助成元団体も限りある大切な資産から助成金を拠出して、「有効に活用してもらいたい」「社会に役立ってほしい」という想いをNPO(市民活動団体)に託します。しかし、その想いに応えることのできる自信に満ちた申請書であっても、もっとレベルの高い申請書が提出されていたら、残念ながら、助成金を獲得することはできないかもしれません。その時の「運」も影響するかもしれないのです。これから、助成金の申請を考えている方もいると思います。

まずは、団体の経営(運営)ビジョンを考え、そのビジョン上に位置づけられた助成金である必要があります。その上で、その助成金が本当に必要なのか、助成する団体の想いを実現することができるのか?助成する団体とWIN=WINの関係が築くことができるように心掛けてください。また、助成金は継続して拠出してもらえないものではありません。助成金以外にも、会費や寄付金といった資金源を確保するようにしましょう。資金調達はほとんどの団体が頭を悩ませているのが現状です。安定した団体運営のためには、さまざまな資金源の特徴を活かして、団体の信頼性と支援者(会員、寄付者、助成元団体)の満足度を高めることができるよう、ミッションやビジョンを団体内で共有しましょう。(柴田)